
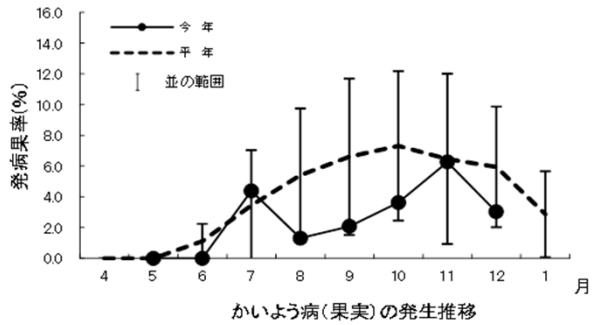
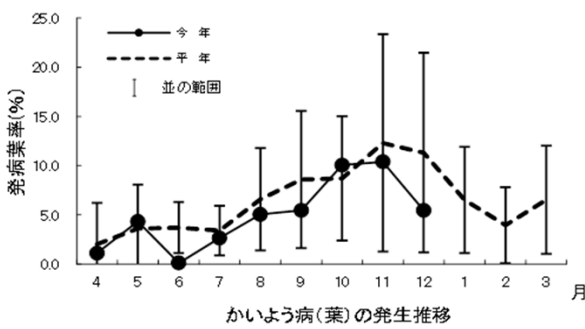


作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	① かいよう病		
12月の発生量 (現況)	並		
1月の増減傾向	↘		
増減傾向の根拠	発病果率の平年の発生推移から、12月より発生量は減少すると考えられる。		

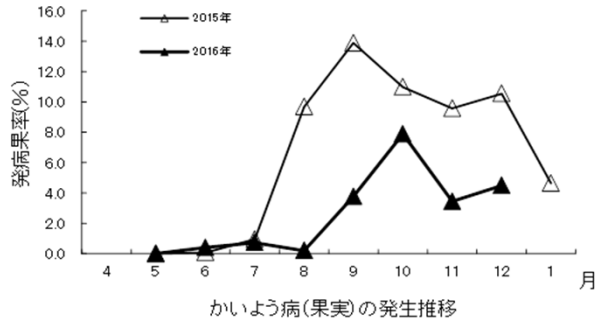
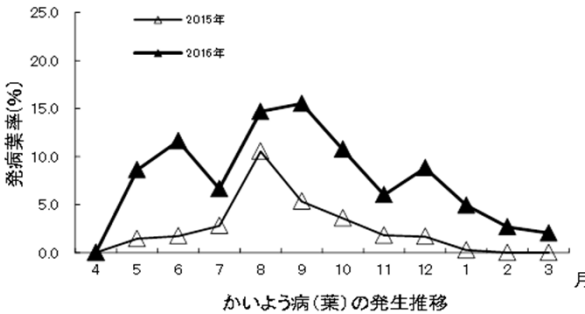
発生量の根拠 (調査結果)

- ・ 12月中旬の調査の結果、発病葉率は5.5% (前年8.8%、平年11.3%) と平年並であった。
- ・ 発病果率は3.0% (前年4.5%、平年.9%) と平年並であった。

(今年のデータ)



(過去2年のデータ)




防除のポイント

- ・ 本病はミカンハモグリガによる食害痕から侵入しやすい。
- ・ 罹病葉・枝は翌年の伝染源になるので除去する。



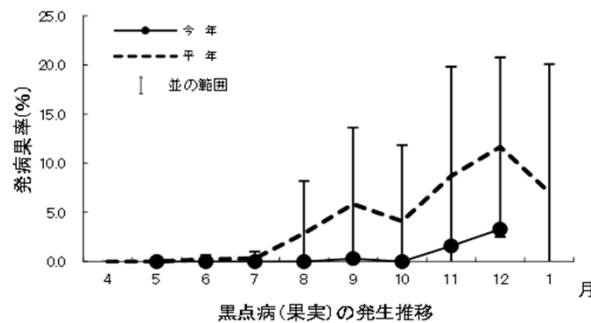
ハモグリガ被害痕からの感染

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	② 黒点病		
12月の発生量 (現況)	並		
1月の増減傾向	↘		
増減傾向の根拠	発病果率の平年の発生推移から、12月より発生量は減少すると考えられる。		

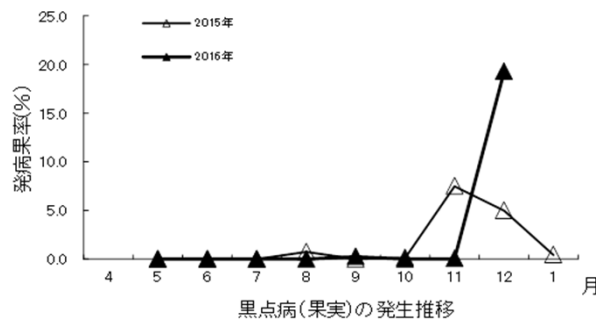
発生量の根拠 (調査結果)

- ・ 12月中旬の調査の結果、発病果率は3.3% (前年19.3%、平年11.7%) と平年並であった。

(今年のデータ)




(過去2年のデータ)



防除のポイント

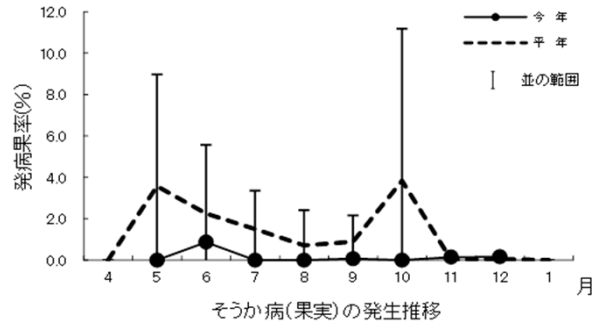
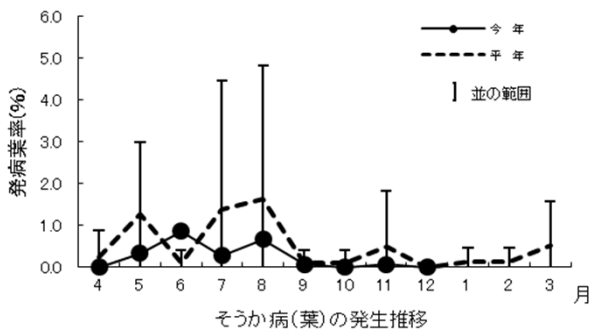
- ・ 周辺の防風樹も含めて、枯れ枝は丁寧にせん定し処分する。
- ・ 園内の通風、採光を良くするために、間伐、せん定等の管理を徹底する。

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	③ そうか病		
12月の発生量 (現況)	並		
1月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	発病果率の平年の発生推移から、12月と同程度の発生量と考えられる。		

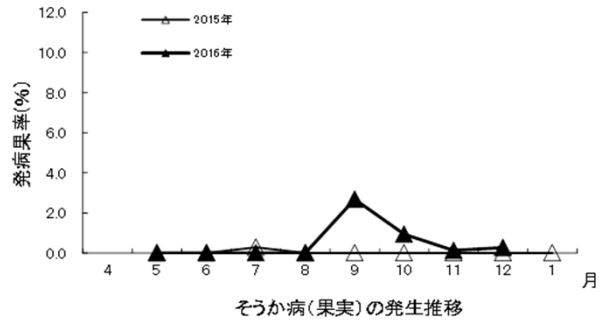
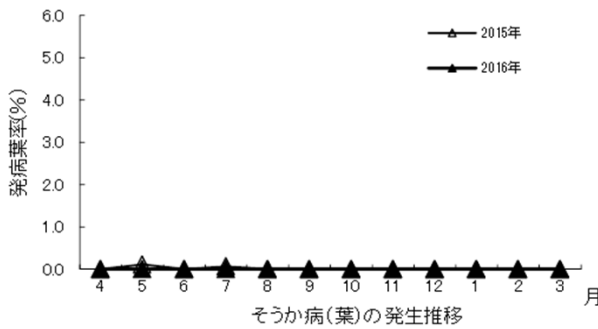
発生量の根拠 (調査結果)

- ・ 12月中旬の調査の結果、発病葉率は0% (前年0%、平年0%) と平年並であった。
- ・ 発病果率は0.2% (前年0.3%、平年0.1%) と平年並であった。

(今年のデータ)



(過去2年のデータ)




防除のポイント

- ・ 罹病葉・枝は翌年の伝染源になるので除去する。



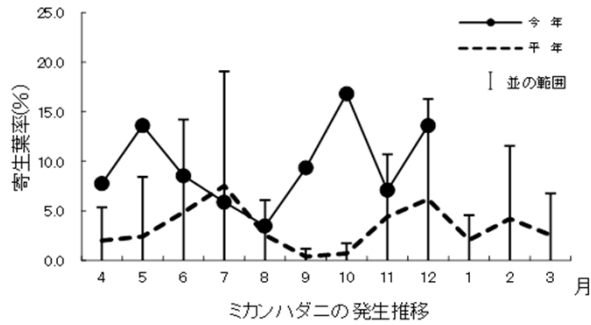
罹病葉

作物	かんきつ (タンカン)	地域	沖縄群島
病害虫名	④ ハダニ類		
12月の発生量 (現況)	並		
1月の増減傾向	↓		
増減傾向の根拠	寄生葉率の平年の発生推移から、12月より発生量は減少すると考えられる。		

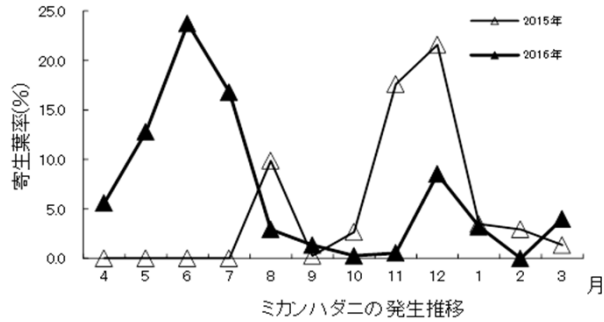
発生量の根拠 (調査結果)

- ・ 12月中旬の調査の結果、寄生葉率は13.6% (前年8.5%、平年6.2%) と平年並であった。

(今年のデータ)



(過去2年のデータ)



防除のポイント

- ・ 薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。



ハダニの寄生による葉のかすれ症状